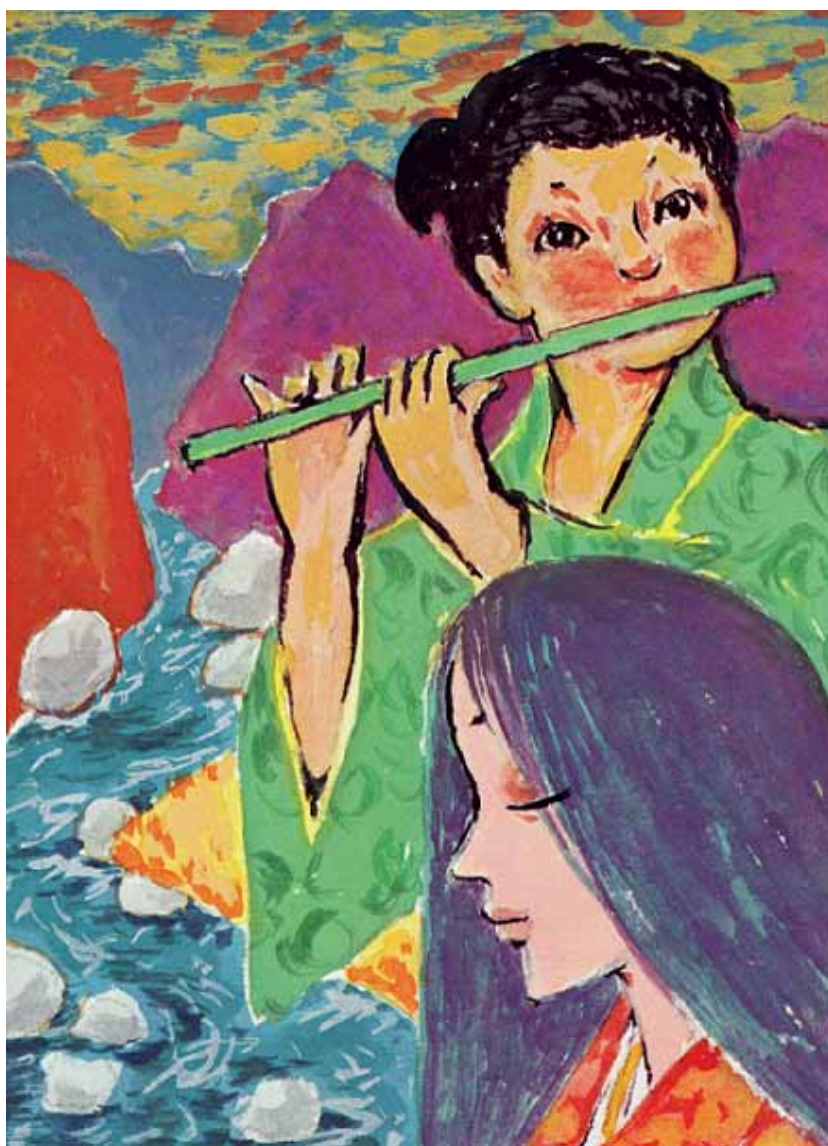


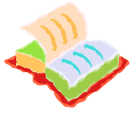
小学校5・6年生に贈ります

本の世界へようこそ！



鶴見雄一 絵／山梨国語研究会 編
『読みがたり 山梨のむかし話』日本標準より

やまなしけんこうきょうとしょかんきょうかい
山梨県公共図書館協会
じどうほうしけんきゅうぶかいきょうしづ
児童奉仕研究部会峡支部



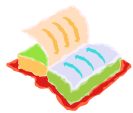
はじめに

読書は、好きですか？ きれいですか？

ちょっとだけでいいから、この冊子で紹介している本を読んでみませんか。読書がきれいな君は、きっと！まだ、楽しい本に出会っていないのだと思うよ。図書館で本を借りて、本の世界を自由に旅してみようよ。本を読んで、心に栄養補給しよう！

将来の夢は何？ 最近ではどんなことに興味があるのかな？ お友達とは、うまくいってる？ 本は、悲しいときに励ましてくれたり、こころを癒してくれたりする。そして、将来の夢にむかってのヒントもくれるんだよ。読んでおかないと・・・損しちゃうかもよ。

児童奉仕研究部会 峡支部の図書館員が小学校高学年のみなさんにより良い本に出会ってほしい！と願って、すすめたい本を選びました。ぜひ、活用してください。



選定基準

下記の選定基準を基本に、選定しました。

1. 年齢にあったストーリー性のあるもの。
2. 言葉のおもしろさや、言葉の裏側にあるものを感じ取り、想像力や感性を豊かにするもの。
3. 心に何かを残すもの。知識が与えられるもの。
4. 絵は、場面にふさわしく、楽しさが自然と伝わってくるもの。
5. 各図書館でよく利用されているもの。できる限り、現在入手可能なもの。

※郷土資料等、絶版の資料もありますが、最寄りの図書館で借りることがで

きますので、各図書館にお問い合わせください。

もくじ
目次

はじめに

ものがたり 物語	1
せんそう 戦争・ へいわ 平和・ れきし 歴史	5
じんせい 人生・ いのち 命・ かそく 家族・ せい 性	10
ふくし 福祉・いじめ	13
しよくぎよう 職業・ しんろ 進路	15
しゃかい 社会	19
きやうど 郷土	23
しぜん 自然・ かんきやう 環境・ うちゆう 宇宙・ どうぶつ 動物	26
しよめいさくいん 書名索引	33



 も の が た り

物 語

	「青空のむこう」 アレックス・シアラー／著 金原瑞人／訳 求龍堂 2004年 突然の事故で命を失った少年が、再び“この世”に帰ってきます。生きている間には見えなかった、聞こえなかったこと。失くしてから気づいた大事なこと。それを取り戻すための、彼の文字通り“最後”の冒険です。少年の“死”を扱いながらも、その悲しさや切なさと共にキラキラした希望も出てくる、不思議な余韻の物語です。
	「穴」 ルイス・サッカー／作 幸田敦子／訳 講談社 1999年 世にもついていない少年、スタンリー。(しかもそれが代々続く遺伝、という噂のなさ…。) やがて不運の果て、無実の罪で更生施設に入れられた彼に課せられたのは『根性を養うため』という理由のもとの、終わることのない“穴掘り”。どうなる、どうする？スタンリー！面白くて時にピリッと刺激的…。一筋縄ではいかない“冒険物語”。
	「鬼の橋」 伊藤 遊／作 太田大八／画 福音館書店 1998年 時は平安時代。夜の真の闇に潜む物の怪と人とが隣り合って生きていた頃のお話。“昼は朝廷に仕え夜は冥府の官僚”、そんな小野篁の伝説を背景に、彼の少年時代を描きます。少年篁は未だヒーローではなく、己の不注意で亡くしてしまった妹への思いに苦しみながらも、仲間と共に苦難を乗り越えていきます。京の光と闇の情景描写もすばらしい、時代絵巻ファンタジー。
いわなみしょうねんぶんこ 岩波少年文庫 	「クローディアの秘密」 E・L・カニグズバーグ／作 松永ふみ子／訳 岩波書店 2000年 毎日に退屈していたクローディアはある日、弟を誘って家出をし、ニューヨークのメトロポリタン美術館でこっそり生活をはじめました。そこで二人は美術品をめぐるミステリーに巻き込まれてしまいます。クローディアがさまざまなことを体験しながら成長していく姿が、愛情をもって描かれている素敵な作品です。

かせ ぶんがくかん 風の文学館Ⅱ	「12歳たちの伝説」 (全5巻)
	後藤竜二／作 鈴木びんこ／絵 新日本出版社 2000年 騒ぎっぱなしの授業中、いじめ、不登校、次々に変わる担任…見捨てられた気分の学校生活。“パニック学級”のレッテルを貼られた子どもたちが迎える新学年の春。ぬいぐるみを教室に持ち込んだちょっと風変わりな先生、通称“ゴリちゃん”の登場で、さて、どうなる？。6年1組の揺れ動く12歳たちが、それぞれの生まれ変わる日を語ります。
	「チョコレート工場の秘密」
	ロアルド・ダール／著 田村隆一／訳 評論社 1978年 チャーリーが住んでいる町に、世界一広大で世界一有名なワンカのチョコレート工場がある。けれども、だれもそこで働く人を見たことがない。なぞの工場だ。ある日その工場へ5人の子どもたちが招待されることになる。そしてその工場でチャーリーを待ち受けていたのは…子どもも大人も楽しめる、ドキドキ・ワクワクの物語です。
いわなみしょうねんぶんこ 岩波少年文庫	「飛ぶ教室」
	エーリヒ・ケストナー／作 高橋健二／訳 岩波書店 2006年 物語の始まりはクリスマスの少し前。ドイツ、ギムナジウムの寄宿舎が舞台。個性溢れる5人の少年を中心に、様々な事件や魅力的な教師との関わりを通して彼らの成長を描きます。古典ゆえのやや古めかしい、けれど美しい文章が印象的な、児童文学の傑作。大切なものはいつの時代でも変わることがないことをそっと教えてくれます。
	「ナルニア国物語」 (全7巻)
	C. S. ルイス／作 瀬田貞二／訳 岩波書店 1987年 1950年から56年に書かれた全7作の物語。想像の国『ナルニア』の誕生から滅亡までを描いた、世界中で愛されているファンタジーです。4人の兄弟がある日、大きな衣装だんすに入ると、雪のつもる別世界ナルニアへと続いていた。その4兄弟が正義のライオンとともに白い魔女軍と戦う第1作目の「ライオンと魔女」から7作目「さいごの戦い」まで、飽きることなく読める名作です。
	「西の魔女が死んだ」
	梨木香歩／作 小学館 1996年 “西の魔女”とは、中学生の少女まいの祖母のこと。中学校にすすんでもなく、どうしても学校へ足が向かなくなったまいは、田舎の祖母の家で生活することになりました。そこでまいは『魔女修行』をすることになります。その『魔女修行』とは、何でも自分で決めるということでした。不登校の少女の癒されていく心を描いた作品です。

	「バッテリー」 (ぜん かん) 〔全6巻〕 あさのあつこ／作 佐藤真紀子／絵 教育画劇 1996年～ 主人公の原田巧は小学生の頃から、あまりの剛速球ゆえ、キャッチャーを探すのに苦労するほどの天才ピッチャー。巧は中学校に入学する直前に、父の転勤で山間の地方都市に引っ越すことになり、そこで新しい野球仲間と出会います。少年たちの真剣勝負が印象的な作品です。
	「はなはなみんなみ物語」 (ぜん かん) 〔全3巻〕 わたりむつこ／作 本庄ひさ子／絵 リブリオ出版 1991年～ 「はなはな」と「みんなみ」は、双子の小人兄弟。銀色つもの山のふもとに広がる森の巨人の木の中で、両親、おじいさんと共に暮らしていました。かつては栄えていた小人族でしたが、むかし起こった小人大戦争をきっかけにほとんど死に絶えたと聞いていました。そんなある日、彼らのほかに小人の仲間が他にも生きていることを知り、一家で仲間探しの旅に出ます。
	「ほこらの神さま」 とみやすようこ／作 小松良佳／絵 偕成社 2002年 5年生になった5月、ぼくらが取り壊されたお屋敷から拾ってきたのは、神様の住む家・小さなほこら。試しに願い事をしてみると…良いことと悪いことが必ず一つずつ起きる！神様の力は本物？それとも偶然？疑惑の中、仲間の一人が大ピンチに…。謎の“ほこら”を巡る、少年たちのたった一度きりの不思議な5月のお話。さわやかです。
	「美乃理の夏」 ふじまきえり／作 長新太／画 福音館書店 2004年 同じクラスの須賀くんと茜ちゃんと美乃里は、交換ノートが続けていた。でも、須賀くんと茜ちゃんがお互いに好きなことがわかってきて、美乃里はさみしくなっていた…。そして夏休み、「美乃里」は「美」という同じ名前を持つ男の子と出会う。美乃里が困っているとき、ふっとあらわれる小柄な少年。小さな銭湯での不思議な出会いを軸に描かれる、少し切ない、純愛と成長の物語です。
	「モモ」 ミヒヤエル・エンデ／作 大島かおり／訳 岩波書店 1986年 町はずれの円形劇場に迷い込んだ不思議な少女モモ。町の人たちはモモに話を聞いてもらえると、幸せな気持ちになるのです。あるとき「時間どろぼう」の男たちの魔の手が忍び寄り…。最近では大人も子どもも「忙しい」という言葉をよく、口にします。この本を読んで“時間”について、生き方について、もう一度考え直してみませんか？エンデ不朽の名作です。

	「 ^も 守 ^{ひと} り人」シリーズ
	上橋菜穂子/作 二木希子/絵 偕成社 1996年～ 女用心棒バルサが、新ヨゴ皇国の皇子チャグムの命を偶然に救います。チャグムの命が何者かに狙われていることを知ったバルサは、命がけで彼を守ります。チャグム皇子は、不思議な運命を背負わされていた“精霊の守り人”なのでした。チャグム皇子の体の中に宿ったものとは…？2007年現在、第5シリーズまで続いています。
	「 ^{らくえん} 楽園のつくりかた」
	笹生陽子/著 講談社 2002年 “家庭の事情”で引っ越すことになったぼくの転校先は、同級生は3人だけ(しかもすごい個性派揃い)、住所に“字”のつく、ド田舎の分校だった。ここが楽園…？エリートコースをまっすぐ突き進むはずの人生設計は崩れ去り、ペースのつかめないぼくは単身赴任中の父親に不満のメールを送り続ける…。テンポ良く読める現代中学生事情。一見クール、でも読後感は温かです。



戦争・平和・歴史

戦争・平和



	「あたらしい戦争ってなんだろう？」
	やまなか ひしやまなか のりこ 典子/著 理論社 2003年 テロリストから世界を守るため、といわれる『あたらしい戦争』、イラク戦争。 どうしてこのような戦争が起こったのか、どうすれば『あたらしい戦争』は止められるのか。 つぎの戦争が始まってしまう前に読んでおきたい本です。
	「生きる、って何？戦争はなぜ起こるの？」 日本ユニセフ協会/製作 主婦と生活社 2004年 「生きるって何？」。。。当たり前のことが意味を問われる、この現代に生きる人たちに読んでほしい本です。 “自分をみつめ 考え 答えを出し 歩くこと。 周りを見つめ 考え 答えを出し 歩くこと。”…読み終わると心が強くなれる、そんな言葉がたくさん詰まった一冊。読む者全ての心に感動を与えます。
新版	「ガラスのうさぎ」
	高木敏子/作 金の星社 2000年 1953年3月10日東京大空襲。敏子は母と二人の妹を失い、その五ヶ月後、今度は父をも目の前で殺されてしまいます。この本が1977年に初めて出版されて以来長く読み継がれているのは、戦争を生きぬいた著者の平和への願いが切実に描かれているからです。焼け跡でみつけたガラスのうさぎは、私たちにこの戦争を決して忘れてはならないことを強く語りかけています。
	「小型武器よ さらば」
	柳瀬房子/文 小学館 2004年 世界には、地雷までふくめた小型武器が5～6億個もあると言われていいます。それは、世界の総人口の、10人から12人に1人が、小型武器を所有している計算になるのです。紛争地域では子どもにも銃を持たせ、戦わせてもいます。地雷をなくし、不必要な小型武器を減らすにはどうしたらいいのか。この本を読んで、一緒に考えましょう。

	「写真絵本・国境なき医師団」 (全6巻)
	国境なき医師団／監修 早乙女勝元・山本耕二／編 大月書店 2005年 私たちの住んでいる地球は、今も戦争や紛争が絶えることがありません。そのため多くの人々が、傷つき、大切な人を失っています。助けを必要としている人であれば、だれでも差別せず援助するのが「国境なき医師団」です。「国境なき医師団」の創立から今日に至る活動を写真とともに紹介した本です。
	「シリーズ憲法9条」 (全3巻)
	歴史教育者協議会／編 汐文社 2006年 「そろそろ憲法を見直すほうがいい」という意見が出てきている今、読んでもらいたいシリーズです。 本当の『平和』のために、日本の憲法で決めた平和主義や9条の戦争放棄について考えてみましょう。
	「戦争が終わっても」
	高橋邦典／写真・文 ポプラ社 2005年 少年兵や迫撃砲に被弾した女の子…。西アフリカのリベリア共和国に住む4人の子どもの戦争体験とその後を追った、写真絵本です。心に傷を負い、体の一部を失い、それでも未来へ向かって生きている子どもたちがいます。何の心配もなく日々を過ごす…私たちにあって当たり前なのがどれほど恵まれたことなのかを、この本は教えてくれます。
	「ダイヤモンドより平和がほしい」 子ども兵士・ムリアの告白
	後藤健二／著 汐文社 35歳。“世界で最も平均寿命の短い国”として知られるアフリカの国、シエラレオネ。戦渦の中、家族を殺され、自らは“子ども兵士”にされた少年の姿から見える、戦争の真実とは…。けして癒えることのない心の傷と、彼はどう向き合い、大人たちはどうささえるのでしょうか。同世代の子どもたちに問いかける衝撃のノンフィクション。
子どもたちの未来のために	「ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか？」 ～ベトナム帰還兵が語る「ほんとうの戦争」～
	アレン・ネルソン／作 講談社 2003年 「戦争に行って、国家のために戦うんだ。」戦争の残虐さを知らなかったネルソンさんは、海軍に入隊しました。日々、行われる訓練のなかで命令のまま動く兵士になり、ベトナムに送られます。彼は人を殺しても何も感じませんでした。ところが、ある事件をきっかけに…。多くの人を殺した元海軍兵が語る戦争の真実。

	「ヒットラーのむすめ」
	ジャッキー・フレンチ／作 さくまゆみこ／訳 すずき出版 2004年 これは、スクールバスを待つ間の暇つぶしに始めた少女アンナの『お話しゲーム』です。第二次世界大戦下のヒットラーの娘であるハイジと、現代のオーストラリアの少年マークのエピソードが交互に語られる構成で描かれています。「どうやったら善悪の違いがわかるのだろうか」「自分のまわりの人たちがみんな間違っていたら、自分はもうどうしたらいいのか」など多面的に疑問を投げかけ、戦争に対する思いを語ります。
	「被爆者」 60年目のことば
	会田法行／写真・文 ポプラ社 2005年 被爆された方々の「いま」の写真が、その人の「いままで」を伝えている、戦争・平和・生きることの意味を静かに語る写真絵本です。被爆者の体験は、過酷であり、無慈悲なものでしたが、なお、この世界に希望を持ち、生き続ける被爆者たちがいるという事実を知ってほしいと思います。被爆から約60年。広島・長崎に生きる6人の被爆者のことばに耳を傾けてください。
	「わたしたちのアジア・太平洋戦争」 (全3巻)
	古田足目ほか／編 童心社 2004年 1931 (昭和6) 年から1945 (昭和20) 年まで、日本は外国と戦争をしました。日本がアジアの国々で侵略を挙げ、非戦闘員まで犠牲になった空襲や原爆投下、戦後の占領期までの道のりがわかります。被害を受けた日本人ばかりでなく、植民地支配されたアジア諸国や女性、加害者の立場になった人々からも幅広く集めた、ずっしり重い戦争体験集です。



ノンフィクション知られざる世界	「アイスマン」 5000年前からきた男
	デイビッド・ゲッツ／著 赤澤威／訳 金の星社 1997年 1991年、アルプス山中で発見された一体の凍死体。しかし彼は、普通の遭難者とは少し違っていた…彼—“アイスマン”はいつの時代からやってきたのでしょうか。考古学や法医学、様々な分野の学者たちが挑んだ“アイスマン”の謎とは？写真やイラストも豊富で最後まであきさせない、わくわくする科学ノンフィクション。

しょうほかん ポプラディア情報館	「衣食住の歴史」
	にしもととよひろ かんしゅう ポプラ社 2006年 「着る」「食べる」「住む」の3つをテーマに、旧石器時代から明治時代以降までの日本人の生活のうつり代わりを詳しく紹介しています。博物館や資料館に展示してある昔のくらしの様子を知る道具や模型も、写真やイラストを使い説明されていて、各時代の人々がどのような暮らしをしていたのかがよくわかります。
	「世界ふくそうの歴史」 (全5巻)
	かわぐちかずまさ ぶん たかはしはるこ かんしゅう リブリオ出版 2001年 人類の進化とともに発達してきた服装の変化。紀元前から20世紀までの服装を、歴史的背景から解き明かす全5巻のシリーズ。知ることの楽しさ、学習することの喜びを体感できる情報がぎっしり詰まっています。世界のひと々の服装の変化からその時代の歴史も学習できて、調べ学習がとっても楽しくなります。
	「戦国時代の道具図鑑」
	もとやまけんじ えぶん PHP研究所 2003年 ひなわじゅう ばく たなか つか かんしゅう 火縄銃や馬具など『戦いに使われた道具たち』から、茶器・陶器など『生活をささえた道具たち』まで、見たこともないユニークな道具が、イラストと細かい注記でわかりやすく説明されています。「やがらもがら」や「中聖牛」って、どんな道具がわかりますか？ 見るだけで楽しくなる歴史図鑑です。
	「地図で見る日本の歴史」 (全8巻)
	たけうちまこと かんしゅう フレーベル館 2001年 「地図」「解説」「イラスト」の3つの柱で構成された、調べ学習にも対応可能な歴史の本です。この本の特徴は地図の上で歴史が学べるということです。できごとマップ、解説、テーマ別マップ、イラスト、世界マップ、の5つの要素で構成されていて、いろいろな角度から歴史を紹介しています。歴史の時間的な流れと地域の広がりなどが目に見えてわかってきます。
	『みんなが知りたい「世界の歴史」がわかる本』
	イデア・ビレッジ 著 メイツ出版 2005年 げんし こだい ちゅうせい きんせい きんだい げんだい じだい なか 原始・古代・中世・近世・近代・現代とそれぞれの時代の中でテーマごとに、歴史上のどの時代に、どこで起きた出来事なのかがイラストや地図をたくさん使って、わかりやすく説明されています。年表、索引でエジプト、ニュートンなど自分の興味のある言葉から調べていくこともできます。世界の偉人大集合のページも楽しい1冊です。

	『みんなが知りたい「日本の歴史」がわかる本』
	アイデア・ビレッジ／著 メイツ出版 2005年 小学校や中学校で勉強する日本の歴史の中でも、特に重要な出来事を取り上げています。テーマごとに楽しいマンガやイラストを使い、分かりやすく説明してあります。
	『昔のくらしの道具事典』
	小林克／監修 岩崎書店 2004年 今ではほとんど使われなくなった、明治・大正・昭和の生活道具の大幅鑑。写真入りの目次や、使い方、まめ知識など、“昔”を知らない子どもたちにも、詳しくわかりやすく紹介します。全てを人力で動かしていた、今より不便かもしれない時代。その中の、昔の人の知恵と工夫がいっぱいつまった道具を通して、少し前の日本の暮らしが見えてくる一冊です。
	『昔の子どものくらし事典』
	本間 昇／監修 岩崎書店 2006年 みなさんのお父さんやお母さんが、子どもだった昭和30～40年代。その時代を中心に、子どもの遊びや生活を、当時、一般的に使われていた物などを手がかりとして取り上げながら、テーマ別に分かりやすく紹介しています。 いつの時代も、子どもは毎日の生活の中でいろいろな知恵や工夫をたくさん受け取って大きくなったのです。



じんせい いのち かぞく せい
人生・命・家族・性

	「赤ちゃんのはなし」 マリー・ホール・エッツ／文・絵 坪井郁美／訳 福音館書店 1982年 おなかの中に芽生えたひとつの“生命のもと”が赤ちゃんになるまで…。どんな風に？どれくらいかかって？いつの時代にもある、子どもたちの疑問に答えます。一見クラシカルですが、その美しい絵と文章はいつまでも色あせることなく、“生命の営み”の感動を伝えてくれます。親子で、家族で、大切な人と一緒に読んでほしい、すてきな1冊です。
さいとうたかし いっぱつ 齋藤孝のガツンと一発 5 	「家族はチームだ もっと会話をしろ！」 さいとうたかし 著 PHP研究所 2004年 家族は生きていく中で最初に出会う一番大切なチームです。家族の中でしっかり過ごす中で生きていく力がつきます。自分が生まれ育ち、家族と語り、次には自分が家庭を持ち親になり、また子どもに伝えていく…。この本を読んでもっと家族と語り合いたいと思えば、家族の会話が楽しくなること間違いなしです。家族のコミュニケーションを大切にしよう！
	「きいちゃん」 山元加津子／著 多田順／絵 アリス館 1999年 きいちゃんはいちばん小さい頃に高熱を出して手足が思うように動きません。家を離れて学校に通っています。ある日おねえさんが結婚することになりましたが、お母さんが結婚式に出てほしくない…。悲しみの中、きいちゃんはいっしょに心を入れておねえさんに浴衣を作りました。結婚式当日感動が待っています！
	「性ってなに？」 高柳美知子／作 新日本出版社 2003年 思春期を迎える9、10歳ごろから、子どもの体は大人の体へと変化していきます。男の子と女の子の体のしくみや、どうやって赤ちゃんが生まれるかなど、子どもたちが知りたい体や心、性についての疑問や不安に、分かりやすくていねいに答えてくれます。

トレボー・ロメイン こころの救急箱4	「大切な人が死んじゃった」
	トレボー・ロメイン／著・絵 上田勢子・藤本惣平／訳 おおつきしよてん 2002年 大月書店 大切な人が死んでしまった時、ショックを受けて悲しくなったり辛い気持ちになった時、どう対処すればいいのでしょうか？死んでしまったらどうなるの？子どもたちが悲しみにどう向き合えば良いのかを、この本は優しく教えてくれます。
かぞく 家族ってなんだろう	「なぜ命はたいせつなの？」
	こどもくらぶ／編・著 池田彰／総監修 ほるぷ出版 2002年 “命”というテーマは、それ自体の大切さはもちろん、その他のたくさんの“大切なこと”についても、何かを感じ、考えることができるテーマです。 “人は限られた一生を生きている”ことを知り、『生と死』を考え、感じる。…大切なものはそこにも見えてきます。様々な事柄から、命は大切で、そしてけして自分ひとりのものではないことを教えてくれる1冊です。
「夏の庭」 — The Friends —	「夏の庭」 — The Friends —
	ゆもとかずみ／作 徳間書店 2001年 小学校最後の夏、祖母のお葬式から帰った山下君の、「死んだ人って、重たそうだった」という一言から、“死んだ人”に興味を持った三人の少年は、“死が間近では”と、噂される近所の一人暮らしのおじいさんを見張ることを計画します。ところが、おじいさんはだんだん元気になり、言葉を交わすうち、3人はさまざまな事を知っていきます。12歳の少年たちの忘れがたい夏の物語。
「葉っぱのフレディ」 — いのちの旅 —	「葉っぱのフレディ」 — いのちの旅 —
	レオ・バスカーリア／作 みらいなな／訳 童話屋 1998年 春に生まれた葉っぱのフレディは成長し、まわりの葉っぱはみんな自分と違うことに気づきました。夏の間はみんなと楽しく過ごし、人間のために涼しい木陰を作りました。秋のすばらしい紅葉を過ぎ、北風と共にひっこしをする事を知り、「死」とはどういうことなのかを考えます。自分の力で「考える」ことをはじめた子どもたちに読んでほしい一冊です。
「ハルばあちゃんの手」	「ハルばあちゃんの手」
	やまなかひさし／文 木下晋／絵 福音館書店 2005年 うまれた時から、小さなほくろがふたつあって器用で幸せになれる手だと言われたハルの手。ハルは家族のために仕事をいとわず一生懸命働きました。娘のころには盆踊りで美しい姿を見せみんなの目をひきました。写実的なモノクロの絵の中に、そっと温かいものを感じます。最後の言葉にハルの想いが込められています。

	「ぼく どこからきたの？」
	ピーター・メイル／著 アーサー・ロビンス／画 たにがわ しゅんたろう／訳 かわでしよぼうしんしゃ 谷川 俊太郎／訳 河出書房新社 2002年 どうして赤ん坊は生まれるの？このなぞを楽しいイラストとやさしい文章で解き明かしてくれる絵本です。いつかは知る日がやってくる、性のおはなし。「あるがままの いのちのはなし。ごまかしなし、さしえつき。」事実を隠さず、ユーモラスに教えてくれます。
	「みんなのためのルールブック」
	ローン・クラーク／著 亀井よし子／訳 北砂ヒツジ／絵 そうししや 草思社 2004年 みんなが気持ちよく生活していくために必要な、人生の50のルールが紹介されています。ルールは他人を思いやる心と、自分を大切にすることを育てるためのものです。なぜ、このようなルールが大切なのかおうちの方と一緒に考えながら読むのもいいですね。「好きな花は何ですか？」と聞かれたら「好きな花は桜です。」と完全な文章で答えよう！など、気付かされることが多い1冊です。
	「もう、死なせない！」 —子どもの生きる権利—
	桃井和馬／著 フレーベル館 2004年 子どもの保護と権利を守るために、「子どもの権利条約」は作られました。戦争で家や家族を失った子どもたち。エイズに感染した親から生まれた子どもたち。放射線や汚染された人と自然。どのような状況の中でも、子どもたちは、国連憲章において宣言された平和・尊厳・寛容・自由・平等の精神によって育てられなければならないのです。
ジュニア版	「ルイーゼの星」
	カーレン・スーザン・フェッセル／作 オルセン昌子／訳 きゅうりゅうどう 求龍堂 2004年 「生きるっていいものは、いいものよ、ルイーゼ」 突然ガンの宣告をされたママと過ごした最後の1年は、10歳のルイーゼや家族達にとってかけがえのないあたたかい時間でした。病気で家族を亡くした子どもの気持ちを、ルイーゼが代弁してくれています。命の大切さを感じ、悲しみを乗り越えるための道しるべとなる一冊です。



ふくし
福祉・いじめ

	「ありがとう、フォルカーせんせい」 パトリシア・ポラッコ／作・絵 香咲弥須子／訳 いわさきしよてん 岩崎書店 2001年 絵を描くことがとても上手なトリシャ。でも、5年生になっても字が読めません。友だちに笑われ悲しい日々を過ごしている時、新しい先生がやってきました。先生はトリシャのいい所を見つけ認めてくれました。そして、字の読めないトリシャに特別な練習を始めたのです。作者の自伝的なお話です。
	「非・バランス」 うおすみなおこ 魚住直子／作 野村俊男／絵 講談社 1996年 “私”は、11歳の時の『いじめ』がもとで、クールに生きる作戦で毎日を送っていました。「クール」と唱えることで、いじめられた記憶の恐怖や友だち関係の不安から逃げていたのです。ある雨の日に「助けて。」と声をかけた大人の女性サラさんとの出会いが『絶対孤立』を貫いていた“私”の生活を変えてゆきます。
シリーズ・身をまもる 3 	「いじめや仲間はずれから身をまもる」 ほろいわなな／著 ポプラ社 2002年 今、実際にいじめにあっている人に、どんなことをすればいじめから身を守れるか、具体例をあげながら解決策を考えていける本です。どうして自分がいじめられるのだろうか…。こんなに辛いなら死んでしまいたい…。誰にも相談出来ずに悩んでいる…。相談できる連絡先なども掲載されているので状況に応じてすぐに対処することができそうな一冊です。
	「自分をまもる本」 いじめ、もうがまんしない ローズマリー・ストーンズ／著 小島希里／訳 晶文社 1995年 心が傷ついてしまったキミへ… 誰にも相談できず、一人で悩んでいたら、この本を手にとって見てください。同じ体験をした人たちの話を元にして、心を癒していく方法や、かしこく自分を守る方法を一緒に考えてみましょう。子どもだけでなく、“心が弱っている”大人にもおすすめできる一冊です。

	「しらんぷり」 うめだしゆんさく よしこ さく え 梅田俊作・佳子／作・絵 ポプラ社 1997年 どんちゃんがまたいじめられている。ぼくたちは“しらんぷり”するしかない…。なのに、ぼくはある事件をきっかけに渦中に巻き込まれていく。いじめられる子、いじめる子、それを傍観することしかできない子。彼らの思いや心の揺らぎ、周囲のおとな（親や先生ではない…）との関わり、成長の形、を丁寧に描いて胸に迫る1冊。…お話はこう締められて、わずかな光が差し込みます。——“おわり（ぼくにとっての、はじまり！）”
	「葬式ごっこ」 あらんとこ さく あさくらたみこ え 亜蘭知子／作 浅倉田美子／絵 旺文社 1999年 鹿川君は、みんなにシシとかシン君と呼ばれていました。ぼくたちが中学2年の冬の日曜日、シン君の自殺を知ります。遺書には『俺だってまだ死にたくない。だけどこのままじゃ「生きジゴク」になっちゃうよ。』とありました。1986年に起きたいじめによる自殺、“鹿川君事件”をもとにしたお話です。“いじめ”について考えさせられる1冊です。
ときめき文学館 9	「ハードル」～真実と勇気の間で あおきかずお ちよ きむらなおよ が きん ほししゃ 青木和雄／著 木村直代／画 金の星社 1999年 バスケット部のエース、麗音が学校の非常階段から突き落とされ生死の境をさまようことになります。学校側はいじめの事実を隠そうとしますが、子どもたちは正義と勇気をもって学校側に立ち向かって行きます。真実をつらぬく勇気、間違いを正す勇気。真実と勇気の間で立ち向かっていく子どもたちの姿を描いています。
ときめき文学館 7	「ハッピーバースデー」 あおきかずお さく かとうみき が きん ほししゃ 青木和雄／作 加藤美紀／画 金の星社 1997年 「生まれてこなきゃよかった。」11歳の誕生日に、ママと兄から言われた一言に声をなくしてしまったあすか。からかいのつもりで言った言葉に、あすかが苦しんでいることを知った兄は、守りたいと思いはじめます。祖父母の愛と自然の中で、あすかは立ち直ることができました。命あることのすばらしさを教えてくれる感動の1冊。
くらべてわかる世界地図 4	「福祉の世界地図」 ふじたちえ へん しゃくどうゆみこ ちよ おおつきしよてん 藤田千枝／編 赤藤由美子／著 大月書店 2004年 今、生まれてくる子どもの数が減少しています。アフリカでは、4人に1人が5歳まで生きられません。また、世界では、毎日栄養不足で5秒に1人が餓死していて、その75%が子どもだという統計が出ています。いろいろなデータを通して、世界の現状を知り、福祉について考えることができます。

わかもの 若者たちへの特別講座 	「生きるタネ」 の なかゆう 浅さだ しづこ しゅざい しつびつ まきの くみ こ へん 野中祐・浅田志津子／取材・執筆 牧野久美子／編 ポプラ社 2000年 各 界 中 で 語 り け かけ ます 。 家 族 の こ と 、 友 だ ち の こ と 、 学 校 の こ と 、 将 来 の こ と 、 自 分 の こ と 。 さ ま ざ ま な 悩 み を 持 っ て 君 達 ち へ … 14 人 の 人 生 の 先 輩 達 の 言 葉 の 中 に 、 君 達 ち を 導 く ヒ ン ト が き っ と 見 つ か る は ず 。 同 シ リ ー ズ 『 人 生 の ス ジ 』 も お す す め で す 。
か そく 家族ってなんだろう 	「おこづかいはなぜもらえるの？」 こ ども くらぶ へん ちよ ほるぶ 出版 2002年 き み 達 の お こ づ か い は 、 な ぜ も ら え る の で し ょ う か ？ そ れ は 、 家 族 の 家 計 を 支 え て く れ る お 父 さ ん や お 母 さ ん が 、 お 金 の た め 、 そ し て 家 族 の た め に 働 い て か せ い だ 収 入 の 一 部 か ら 支 払 わ れ て い る か ら な の で す 。 家 族 み ん が 協 力 し 、 助 け 合 う こ と の 大 切 さ や 、 家 族 の 役 割 に つ い て の 理 解 も 深 ま る 一 冊 で す 。
シリーズ 	「おしごと図鑑」 く さ ば よ し み 著 フレーベル館 2002年 世 の 中 に は た く さ ん の 仕 事 が あ り ま す 。 仕 事 に は そ れ ぞ れ 大 変 な こ と 、 楽 し い こ と も あ っ て 、 み ん な 工 夫 を し な が ら 仕 事 を し て い ま す 。 こ の シ リ ー ズ で は 、 ナ ー ス ・ 大 工 さ ん ・ 保 育 士 さ ん に 先 生 と 、 子 ども 達 が あ こ が れ る 職 業 を 紹 介 し て い ま す 。 仕 事 の 様 子 、 技 、 ど う し た ら な れ る の か 。 い ろ い ろ な 仕 事 の 様 子 を の そ い て み ま し ょ う 。
	「13歳のハローワーク」 む ら か み り ゅう ちよ はまの ゆか 絵 幻冬社 2003年 動 物 ・ ス ポー ツ ・ 映 画 ・ 音 楽 ・ お し ゃ れ ・ 料 理 な ど 、 い ろ い ろ な 『 好 き 』 を 入 口 に 514 種 の 職 業 が 紹 介 さ れ て い ま す 。 『 い い 学 校 を 出 て 、 い い 会 社 に 入 れ ば 安 心 』 と い う 時 代 は 終 わ り ま し た 。 好 き な こ と を 職 業 と し て 考 え て み ま せ ん か ？ 派 遣 、 起 業 、 資 格 な ど 、 雇 用 現 状 の す べ て を 説 明 し て く れ て い る 仕 事 の 百 科 全 書 で す 。

	「“職業別”ユニフォーム・制服絵事典」 日本ユニフォームセンター／監修 PHP研究所 2005年 ユニフォームには3つの役割があります。一つには、動きやすく仕事や運動がしやすいこと。二つには、会社や集団の特徴を一目でわかるようにすること。三つには、その時代に合った見た目の美しさやかっこよさをあらわすことです。いろいろな仕事のユニフォームを紹介することによって、仕事への興味がわくように工夫されています。
シリーズ	「すきからチャレンジ！資格と検定の本」 学習研究社 2005年 10の分野にわけ、それぞれの資格と仕事、活動について書かれています。自分の好きなことに思う存分打ち込むことの勇気と励みを与えてくれるのが資格と検定です。ずっと「好き」の気持ちが続いたら将来の仕事として夢を膨らませるのも素敵ですね。合格までの厳しい道のりや仕事の大変さなども紹介しています。
	「好きから見つけるなりたい職業ガイドブック」 PHP研究所／編集・出版 2005年 「キミの好きなことはなんだろう？」将来仕事に就くときに大事なことは、夢を持つこと。その夢の手がかりになるのが『好きなこと』です。『好き』をキーワードにして、いろいろな仕事を紹介してくれます。また、その仕事に就くための具体的な方法も教えてくれる一冊です。キミにあった仕事は見つかるかな？
	『大好きなことを「仕事」にしよう』 中村修二／著 ワニブックス 2004年 みなさんは、何をしているときに一番楽しいですか？自分が好きなことを将来仕事に出来たら良いと思いませんか。この本の著者は「青色発光ダイオード」の発明者である、中村修二さんです。中村さんがご自分の経験から、やりがいのある『仕事』の見つけ方を紹介しています。この本には、人生の先輩からのメッセージがつまっています。
	「ただいまお仕事中」 おちとよこ／文 秋山とも子／絵 福音館書店 1999年 大きくなったらどんな仕事をしてみたいですか？日本には、2000～3000種類の仕事があるといわれています。この本では多くの小学生が「なりたい！」と答えた仕事、『花屋』『社長』に『プロのスポーツ選手』など、28種を紹介。どういう学校を出て、どんな資格をとればいいのか、また、就職のしかたや適性など…素朴な疑問にも答えてくれています。

	「日本の職人さん」 (全10巻) 金田昌司／監修 ポプラ社 1998年 日本の伝統工芸の職人さんを詳しく取材した『日本の職人さん』シリーズ。焼き物・漆器・京友禅・人形作り・お菓子作りなど、10の伝統工芸の職人さんが紹介されています。 伝統工芸を支える多くの技術と、仕事に誇りを持つ職人さんの思いや心意気が伝わってくるシリーズです。
ジェンダーフリーの絵本 3 	「働くってたのしい」 朴木佳緒留／文 もりお勇／絵 大月書店 2001年 “女らしく”、“男らしく”ではなく、『自分らしく生きること』が、ジェンダーフリーの考え方です。この巻では、『働くこと』と、ジェンダー（性のちがひ）の関わりについてを、わかりやすいイラストと身近な体験談を元に教えてくれます。 職業を自由に選ぶことのできる力を身につけてください。
おや親にはいえないわたしのなやみ2 	「勉強・成績・進路のなやみ」 上出弘之／監修 佐藤真紀子／絵 ポプラ社 1995年 勉強のこと、成績のこと、進学のこと、心配したり悩んだりしていることがありますか。「なぜ勉強しなくちゃいけないの？」「塾をやめたいけど、親が許してくれない。」など、誰もが思っているのに、友だちや親に相談できない悩みに答えます。この本を読むと思わずうなずいたり、みんな同じように悩んでいるんだと安心できる本です。
	「雪の写真家ベントレー」 ジャクリーン・ブリッグズ・マーティン／作 メアリー・アゼアリアン／絵 千葉茂樹／訳 BL出版 1999年 ウィリー・ベントレーは、アメリカの豪雪地帯の小さな農村に生まれ、生涯を雪の研究とその結晶の写真撮影に捧げました。家族の愛情に見守られ、ひたむきに雪を追いつけたベントレーの生涯をつづった、ぬくもりある“版画”による伝記絵本です。[1999年コールデット賞受賞]
けっていはん 決定版 	「夢を育てるみんなの仕事101」 エイジャ／編集 講談社 2005年 101人の“働く人”が、自らの仕事を語ります。楽しいだけじゃない、つらいことも、でも、やりがいもある！実際に夢をかなえた人たちが語るその言葉は、子どもたちが、“将来の夢”を思い描く時、リアルに心に響くでしょう。さまざまな仕事を6つのジャンルにわけ、豊富なイラストと写真でわかりやすく紹介します。君たちの将来の夢はなんですか？その道筋が見えてくる一冊。

	「わたしが選んだ職業」
	「わたしが選んだ職業」編集委員会/編 松岡達英/絵 福音館書店 2001年 あなたの将来の夢はなんですか？この本は、プロ野球選手・コック・弁護士など人気の61種の職業を、その仕事について人物へのインタビューを通して紹介しています。単なる職業紹介ではなく、その仕事の専門家になった人の喜びや悩みを取材し『おもしろそうに仕事をしている人』の生の声を生き生きと伝えている1冊です。



しゃ か い

社 会

	「井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法」 井上ひさし／作 講談社 2006年 今の日本国憲法が出来るまで、日本の平均寿命は男性23.9歳・女性37.5歳でした。戦争終結の8月15日を境に、私たちの寿命は大幅に延びました。その理由の一つに「二度と武器では戦わない」と決めたことがあります。平和の大切さを表した世界に一つの平和憲法の『前文』と『第9条』をわかりやすい言葉と美しいイラストで紹介しています。
シリーズ 	「お金について考える」(全4巻) 武長脩行／監修 こどもくらぶ／編・著 鈴木出版 2001年 君はお金が好き？どうして好きなんだろう。お金のこと、どれだけ知ってる？お金についての正しい知識と、取り扱いのルールを学ぶことができます。1冊。1巻では“お金の誕生・役割・こわい問題”などを取り上げます。今まで真正面から取り上げることの少なかった、“子ども向けのお金の本”。お金に対する知識を身につけ、“生きる力”に繋げていこう！！
さいとうたかし いっぱつ 斉藤孝の「ガツンと一発」シリーズ8 	「キミは日本のことを、ちゃんと知っているか！」 斉藤孝／著 PHP研究所 2005年 生きていくうえで大切なことは何なのか。日本人であるなら、日本人らしく誇りを持つということはどういうことなのか。斉藤孝が常識ある人間であるための心構えを解りやすく解説します。読んだらきっと明日から、筋の通った輝く人間に成長できます。
	「Q&Aでわかる！これからの年金どうなるの？」 山本礼子／文・監修 汐文社 2005年 今の日本では20歳になれば、誰もが『年金』を納めることになります。これから、子どもの数が減ってお年寄りが増えていくと、納める金額は増え、もらえる金額は減るかもしれません。年金とはどういうものか、大人にとっても難しい、そのしくみや、将来どうなっていくかという予測を、Q&A形式で小中学生向けにわかりやすく解説します。

	こっかいぎじどうだいずかん 「国会議事堂大図鑑」 けんきゅうじょ へんしゅう ほん 2005年 PHP研究所／編集・発行 「国会って毎日開かれているの?」「議事堂の高さは何メートル?」大きなイラストと写真、図解で国会議事堂の姿が見えてきます。建物案内からその歴史、また、国会の運営方法や、そこで働く人の仕事や役割を通して、私たちの生活と国会がどんなふうに関わっているのかを詳しく解説しています。巻末の索引も使いやすい。これを読めば日本の政治のしくみがわかる! 1冊です。
	こ 子どものための 「子どもの権利条約」 おくちなおこ ちよ しょうがくかん ねん 1995年 小口尚子／著 小学館 さまざまな状況におかれた子どもたち。子どもたちには、社会の一員として、個人として、『守られ』、『生きる』権利があります。この本は、子どもの視点で純粋にとらえられた「子どもの権利条約」が、切実に語られています。それは彼らの叫びにも似ています。この条約が全部守られ実行されたなら、明るい社会、素敵な心を取り戻せるのではないのでしょうか。大人にもぜひ読んでほしい一冊です。
	べんとう まん たび 「コンビニ弁当16万キロの旅」 ち ばたもつ かんしゅう べんとうたんていだん ぶん たかはし ゆい こ え 2005年 千葉保／監修 コンビニ弁当探偵団／文 高橋由為子／絵 太郎次郎社エディタス 24時間休みなく開いているコンビニは、とても便利。でもその便利さの裏側には、苦労があるのです。本書では、コンビニ弁当にかくされたヒミツをわかりやすく紹介。食材の輸送や、お弁当工場の一日を紹介するなど、普段は見ることのできないコンビニのあれこれがわかります。さらにコンビニ弁当を食べることで起きる問題も解説。親子で一緒に読んでほしい本です。
	やくそく きょういくきほんほう 「11の約束」 えほん教育基本法 いとうみよし いけだ かよ こ ちよ ほるぷ出版 ねん 2005年 伊藤三好・池田香代子／著 1947年に施行された教育基本法は戦前の軍国主義への反省から生まれました。たった11の条文ですが、『いつでも、どこでも、だれでも差別なく教育を受ける権利があり、そのために社会全体が支え協力していくことが大事』と決められています。教育って何?と思う子どもにも、真剣に教育を考えるおとなにも読んでほしい、やさしい言葉で書かれた絵本です。

	「12歳からの被災者学」 阪神・淡路大震災に学ぶ78の知恵
	土岐憲三・河田恵昭・林春男／監修 メモリアル・コンファレンス・イン神戸／編著 NHK出版 2005年 世界の地震の1/10が日本で起きているという事実。もし、自分が災害の被災者になってしまったら、どのように対処したら良いのか…。地震に備えての防災の心得から、被災者の心のケアを含めた対処の方法まで、各界の専門家による78の知恵には、命を守る方策がいっぱいつまっています。
	「12歳からのマナー集」
	多湖輝／著 新講社 2004年 この本は、インターネット、メールやケータイ、トラブルを避ける「心の準備」…など、対人関係のマナー（みんなが気持ちよく暮らすための決まりごと）を多様な状況に合わせて、とてもわかりやすく解説しています。実際の学校生活や家庭生活、社会生活において、みんなが気持ちよく、好ましく思うマナーがいっぱいつまった一冊です。
NHK週刊こどもニュース	「小学生の大疑問100」
	こどもニュースプロジェクト／編 講談社 1996年 “今までにはなかった子ども向けニュース番組”を、内容そのまま、更にイラストと図解付きで書籍化しました。世の中で起こった事件・事故、世界の動きや環境問題、政治の疑問や、『おならをするのは人間だけ？』などの素朴な疑問まで、子どもたちを取り巻く世界の不思議をQ&A形式でわかりやすく解説しています。おとなが読んでもタメになる一冊！
	「税金の絵事典」 知っておきたい大切なこと
	PHP研究所／編 PHP研究所 2005年 私たちの毎日の買い物には消費税という税金がかかります。家にある車にも、車に入れるガソリンにも、税金がかかります。公立の学校や病院、道路などにも税金が使われています。私たちの暮らしに深く関わる税金について、しくみや種類、使われ方など、1項目ずつ見開きでわかりやすく解説した一冊。暮らしのしくみを、税金の面からも考えて見ましょう。



しょうがくせい だいがもん 小学生の大疑問 	「ニュースを読みとくキーワード100」 こうだんしゃ へん こうだんしゃ 2003ねん 講談社／編 講談社 2003年 よくみにするけれど、意味がわからない言葉があってニュースが理解できなかった…なんてことはありませんか？本書では、ニュース等に出てくる100のキーワードを解説。ニュースの理解度を高めるとともに、疑問をか解決！巻末には主な項目の索引もついているので、とても調べやすくてためになる一冊です。
	「学ぼう！社会保障」 こどもしゃかいほしょうけんきゅうかい へん ちよ ぎょうせい 2004ねん 子ども社会保障研究会／編・著 ぎょうせい 2004年 いりよう ねんきん ふくし ほん しゃかいほしょう 医療について・年金について・福祉について…など。この本は、社会保障に関わるいろいろな話題や疑問を、一問一答形式で分かりやすく説明しています。 しゃかいほしょう ちしき みにつくと げんざい にほん かか かだい み 社会保障についての知識が身につくと、現在の日本が抱える課題も見えてきます。親子で読んでほしい一冊です。
	『「和」の行事えほん』 たかののりこ さく しゅつばん 2006ねん 高野紀子/作 あすなろ出版 2006年 ひなまつり ゆらい おんな こ たんご せつく おとこ こ しあわ ねが いわ ひな祭りの由来は女の子の、端午の節句は男の子の、幸せを願い祝う行事です。一つ一つの飾りや食べ物に意味があり、今のような美しい人形などが飾られるのは、祭りが行われるようになって大分後になってからのことです。近頃は、行事の意味や由来を知っている人が少なくなりました。日本人の四季を大切にしたい「和」の心を、かわいい主人公と一緒に感じてみませんか。



きょうと

郷土

	「おはなし歴史風土記①9 山梨県」 れきしきょういっくしやきょうかい／編 岩崎書店 1985年 高い山々にかこまれた山梨県。人々がまだ、集めた木の実や、森の動物を食料としていた時代から、米作り、ブドウ作りが始まり、工業商業の発達する時代まで…。各時代の出来事を、ふつうの人々の立場で描いた10の『おはなし』が紹介されています。あなたが今歩いている道にも、住んでいる町にもたくさんの歴史が刻まれています。
	「川を治め水と戦った武将たち」 かこ さとし／作 瑞雲社 2004年 甲斐の国(今の山梨県)の戦国時代の武将、武田信玄は戦いがじょうずだったばかりでなく、領土の土木工事にも力をそそいだことで有名です。釜無川と御勅使川の合流地点に作らせた土手『信玄堤』、笛吹川の川ぞいに木を植えて作らせた林と堤防の『万力林』などは、今でも利用されています。豊臣秀吉、加藤清正とともに、土木史での偉業を取り上げています。
	「甲州弁を読む」 てっ! ずくん、あるじゃん。 わたなべ ゆうき 著 東京図書出版会 2005年 本書は、著者が山梨の生活の中で触れ合った甲州弁を、さまざまな場面ごとに会話形式で紹介しています。この1冊に収録されている甲州弁の数は、なんと274語。ひとつひとつの甲州弁の使用例・意味などが詳細に書かれていて、とても面白い甲州弁の手引書となっています。
	「すばらしき山梨の虫たち」 こうしゅうこんちゅうどうこうかい／編 山梨日日新聞社 1998年 山梨県に生息している昆虫たちの興味深い生活の様子を、写真と親しみやすい解説で紹介しています。身近な地域の昆虫について調べる際には、巻末に索引もあり、とても調べやすくなっているので、オススメです。一度手にとって、私たちの身近な自然の中に、こんなにたくさんの昆虫が生きているということに驚かされてみてください。

	「ハンセン病の療養所をつくったお坊さん」 トレヴァー・マーフィー／著 ルック 2006年 ハンセン病を知っていますか？ 綱脇龍妙さんというお坊さんを知っていますか？これは悲しいけれど本当にあったことなのです。ハンセン病にかかってしまった人たちは病気を治す薬もまだなく、世の中の人の理解もなく、とてもつらい時代が続いたのです。ハンセン病と闘う人たちのため、山梨県の身延山に療養所をつくったお坊さんのお話です。
	「富士山の大研究」 江藤初生／著 高田勲／絵 PHP研究所 2004年 知っているようで、本当は知らない、富士山のあれこれを写真や図解、イラストを豊富に使ってわかりやすく紹介した本。歴史・文化・自然など、様々な角度から、“富士山”を大解剖！！山の構造、登山ガイド、噴火、樹海洞窟探検、神の山の伝承、など、どの章から読んでも新しい発見と出会えます。子どもからおとなまで楽しめる、自からウロコの一冊。
	「富士山をひらいた人々」 れきしにのこる富士登山 宮澤 悟／著 近代文芸社 2002年 古くから、富士は神のおわす山として、人々の信仰の対象となる“霊峰”でした。現在は“観光の山”として、誰でも富士登山を楽しめますが、では、最初に“霊峰”に登ったのは…？歴史に残る富士登山をした人や関わりのある人、5人を物語風に紹介しています。遠くから拝むばかりでなく、より富士に近づくことで、その大切さや偉大さを知る…そんな心を後世に伝えた人々の伝記です。
	「藤巻愛子が語る山梨のむかし話と伝説」 藤巻愛子／著 甲州弁民話房 2005年 山梨のむかし話と伝説が10話、甲州弁の語り口調そのままに書かれています。1話ずつそえられている解説もとても詳しく、多くの人を楽しめます。一度読んだら、次はふるさとで温かな言葉で書かれたむかし話を声に出して読んでみてください。独特な方言のリズムが心地よいですよ。お友達と、家族と…読み聞かせし合ってみてはいかがでしょうか。
	「ふるさとやまなしの民話」 山梨県連合婦人会／編集・発行 1989年 山梨県に伝わる民話を、各地域別に88話収録。“私たちのふるさと”の歴史や生活から生まれた民話を知るのに、手を伸ばしやすいかわいらしい挿絵付きです。“ここで昔あんなことがあったんだ”と思えば、ただ家の周りを歩くのも新鮮に感じられるものです。子どもたちが、楽しみながら“ふるさと”に興味や関心を持つきっかけになりそうな一冊。

けんべつ 県別ふるさと みんわ の民話	「山梨県の民話」 オンデマンド版
	にほんじどうぶんがくしやきょうかい へん かいせいしゃ ねん 日本児童文学者協会／編 偕成社 2000年 やまなしけん まわ たか やまやま かこ 山梨県は周りを高い山々に囲まれ、その厳しい自然や生活の中から数 多の民話が生まれました。そこから選ばれた35話が、山梨の方言（甲 州弁）で生き生きと語られます。どちらがより高いかを争った富士山と 八ヶ岳のゆかいな話や、川に流された母をさがして笛を吹き続けた若者 の悲しい話など。自分の住んでいる土地がより身近に感じられそうです。
	「山梨の子ども文学風土記」 やまなしこくごきょういくけんきゅうかい へん にほんひょうじゅん ねん 山梨国語教育研究会／編 日本標準 1987年 やまなしけん かか ぶんがく さっか かんけいしゃ ちいさな しょうかい じどうしよ 山梨県に関する文学とその作家・関係者を地域別に紹介した、児童書と してはあまり類書のない本。俳人や文芸評論家まで幅広く取り上げてい ます。写真やイラストも多く、少し難しい文学作品も、読みやすい文章に 書き改められているので、子どもたちにわかりやすい本となっています。自分 たちの住む山梨について、新たな発見がきっと見つかる一冊。
けんべつ 県別ふるさと どうわかん 童話館 19	「山梨の童話」
	にほんじどうぶんがくしやきょうかい へん しゅつぽん ねん 日本児童文学者協会／編 リブリオ出版 1997年 「山峡をのぼり 長いトンネルをでると 盆地はいつも 両手をひろげた 母のように私をむかえる（『新宿発甲府行き』野田雅子／著）山梨県で 生まれ育った人々によって描かれた郷土色豊かな童話や詩の本。ブドウ や桃の畑が増えるにつれ、養蚕が消えていったことなど、身近な自然や 事柄を題材に郷土の今昔が生き生きと綴られています。
	「山梨の被爆アオギリ二世」 ～平和の使者は山梨の地への舞いおりた～ おかだきよし さく あさかわこうじ え ねん 岡田清／作 浅川晃治／絵 2005年 ひろしま げんぱく ひばく き たね ねん にらさきほくせい 広島市の原爆によって被爆したアオギリの木の種が、1998年 韮崎北西 小学校に5粒送られてきました。たった1粒だけ成長したアオギリは校庭 に植樹されました。“平和の使者・アオギリ”の存在を知る人が少なくなっ た2003年8月6日、被爆アオギリ2世の由来を記した看板が立てられま した。今も広島市の平和を願うシンボルとして大切に育てられています。
	「読みがたり山梨のむかし話」 やまなしこくごきょういくけんきゅうかい へん にほんひょうじゅん ねん 山梨国語教育研究会／編 日本標準 2004年 やまなしけん かくち つた むかしはなし はなし ねん 山梨県各地に伝わる昔話を、“ゆかいな話”“こわい話”などの内容別に 収録。昔話の方言そのままを書き表しているのもユニークな一冊。子ど もたちは昔話の面白さと一緒に、楽しみながら、自分たちの住む場所の 昔の生活や風習、言葉などを知ることができるでしょう。巻末の“昔話地 図”で、どこの地域の話かも一目でわかります。

しぜん かんきょう うちゅう どうぶつ
自然・環境・宇宙・動物

しぜん
自然

	「川原の石ころ図鑑」 わたなべかずお 著 ポプラ社 2002年 川には、たくさんの不思議がいっぱい。生物はもちろんだが、川原の石ころはかぎりなく子どもの好奇心をかきたてます。そんな子ども達のさまざまな疑問を地方別、川別に石ころを紹介する画期的なコンパクト図鑑。親切に丁寧に分かりやすく石ころの特色を伝えてくれるこの本は調べ学習にはもちろん、自由研究の観察にも最適の一冊です。
	「キッズ・エコ」 EOLキッズ ケビン・ショート／監修 おいかわけんじ／イラスト あおきかずお 黒須一彦／文 ソニーマガジンズ 2005年 「水道水を名水にしてみる」「木と草どこがちがう?」「2000年以上生きる世界最大の生き物とは?」など短い文章の中に自然と仲良くなるヒントがたくさん紹介されています。自分のすぐそばにある自然や、出かけて行ってふれ合える自然と友達になることで、この地球で生きる自分達で、環境問題やエコロジーについて楽しく考えるきっかけになる本です。
	「自然図鑑」 さとうち藍／文 松岡達英／絵 福音館書店 1986年 外に出よう! 様々な生き物に触れ、観察しよう! 世界は私たちだけのものではなく、人間も含めた全ての生き物が共存している場だということを、その空気に触れ、五感で感じることで、改めて知ることができるはず。草木や動物たちの生態やその観察方法まで、自然の中に帰る方法を教えてくれるのに最適なガイドブック。リアルで繊細なイラストは、思わず外にも持ち出して本物と比べたくなります!
	「震度7」 新潟県中越地震を忘れない まつおかたつひで 著 ポプラ社 2005年 2004年10月23日17時56分、自然豊かな川口町は観測史上初の震度7の地震に揺さぶられた。地震は、いのち、家、思い出、おだやかな日々…たくさんのものをうばっていった…。しかし、人間の強さとあたたかさ、決して消えないきずなをも教えてくれた。新潟県中越地震で被災した著者が語る地震体験。防災について考えさせられる1冊です。

	「ツバル」～^{かいぼつ}海拔1メートルの島国、その自然と暮らし^{しまくに} 遠藤秀一^{えんどうしゅういち}写真/文^{ぶん} 国土社^{こくどしや} 2004年^{ねん} 『ツバル』という国^{くに}を知っていますか。ツバルは南太平洋^{みなみたいへいよう}にある9島^{とう}から成る美しい島国です。豊かな自然^{ゆたか しぜん}に支えられた自給自足の生活^{じきゅうじそく}が、温暖化^{おんだ}の影響^{えいきょう}で、100年後^{ねんご}には、海中^{かいちゅう}に沈^{しず}んでしまうと^いわれています。「知らなかった」では、すまされない環境問題^{かんきょうもんだい}をツバルの自然^{しぜん}や人々^{ひとびと}の暮らし^{くらし}を通して^{とお}考え^{かんが}ます。
	「ブナの森は緑のダム」^{もり みどり} 太田 威^{おおた たけし}文・写真^{ぶん しやしん} あかね書房^{しよぼう} 1995年^{ねん} 水^{みず}は、生き物のいのちの源^{みなもと}。それを蓄^{たくわ}えるブナの森^{もり}を人々^{ひとびと}は遠い昔^{むかし}から“緑のダム、天然の水がめ”と語り伝え大切^{たいせつ}にしてきました。しかし、現在^{げんざい}ではヒノキなどの植林^{しょくりん}や道路建設^{どうろけんせつ}のため、ブナの森^{もり}は危機的状況^{ききてきじょうきょう}に…。緑のダム^{みどり}の破壊^{はかい}は様々な自然災害^{しぜんさいがい}へと繋^{つな}がってしまうのです。美しいブナの森^{うつく もり}の春夏秋冬^{しゅんかきゅうとう}や、その営み^{いとな}の様子^{ようす}も写真^{しやしん}や図解^{ずかい}で紹介^{しょうかい}しながら、かけがえのない森^{もり}の大切^{たいせつ}さを訴^{うた}えます。
	「森はだれがつくったのだろう」^{もり} ウィリアム・ジャスパソン^{ぶん}文^{かわいまさお} 河合雅雄^{やく}訳^{やく} 童話屋^{どうわや} 1992年^{ねん} 森^{もり}はいきなりできたのでしょうか？ 長い年月^{なが ねんげつ}をかけて森^{もり}が作^{つく}られていく過程^{かてい}が、モノクロの繊細^{せんさい}な絵^えで語^{かた}られています。森^{もり}と動物^{どうぶつ}との関わり^{かんわり}をのぞいてみてください。
	「雄太昆虫記」^{ゆう だい こんちゅう き} 中川雄太^{なかがわゆうだい}/作^{さく} くもん出版^{しゅっぱん} 2002年^{ねん} 白馬村^{はくばむら}の雄太くん^{ゆうだい}が小学^{しょうがっこう}4年生^{ねんせい}から6年生^{ねんせい}にかけて、家のまわりの3種類^{いそ}のアシナガバチ^{しゅるい}を観察^{かんさつ}し続け^{つづ}ました。女王バチ^{じょおう}の懸命^{けんめい}な子育て^{こそだ}や激しいなわばり争^{あらし}いなどの様子^{ようす}が、小学生^{しょうがくせい}らしい素直^{すなお}な文章^{ぶんしょう}と正確^{せいかく}なスケッチ^{しゃしん}、写真^{しやしん}などで記録^{きろく}されています。驚き^{おどろ}の発見^{はっけん}や苦い失敗^{にが}などもたくさんあり、とても感動^{きんどう}的な観察日記^{かんさつ にっき}です。

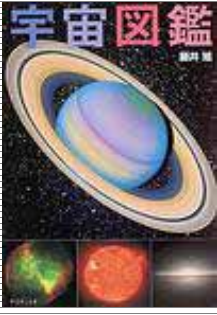


	「あなたが世界を変える日」
	セヴァン・カリス＝スズキ／著 ナマケモノ倶楽部／編・訳 学陽書房 2003年 12歳の少女の勇敢なスピーチが一冊の本になりました。ブラジルのリオ・デジャネイロで開かれた国連地球環境サミットで自身の考えを堂々と語る少女に読者は感嘆します。「地球を守りたい。」世界に向かって純粋に訴える少女の言葉の説得力に返す言葉を失ってしまいます。親子で考え語り合うのにぴったりな内容の、おすすめの1冊です。
	「いま地球がたいへん！」
	国立環境研究所／編 丸善 2005年 環境問題のことで疑問を持ったなら、まずこの一冊をどうぞ。この本は国立環境研究所の環境問題に関する子ども向けWebサイトを書籍化したものです。温暖化、絶滅生物、ゴミ、化学物質など、内容別60の疑問にQ&A形式で回答。コラムとして紹介されている同所の研究最前線も興味深く読めます。“地球はどうなっているんだろう、どうなっちゃうんだろう”そんな不安に簡潔な文章で答えます。
くらべてわかる世界地図 6	「環境の世界地図」
	新美景子／著 藤田千枝／編 大月書店 2005年 「人口の増加と集中」「国境をこえる有害ゴミ」「あなたの地球環境破壊度」などのテーマごとに、見開きの世界地図やささまざまなグラフで、各国の数値が並べられています。私たち日本人の生活は、地球環境にとってどれだけ良いのか悪いのか、ほかの国と比べてどうなっているのかが一目でわかるデータマップです。
シリーズ	「くらしの中の知らない化学物質」 (全10巻)
	田矢 一夫 ほか／著 くもん出版 2001年 ペットボトルや食品添加物など、毎日使っている身近なものの中にも含まれる化学物質を取りあげ、その性質やいつ使われるようになったのか、また、科学物質があたえる影響から、生物や環境を守るために私たちにできることは何か、などを分かりやすく説明しています。

	しょうがくせい ちきゅうかんきょうだいぎもん 「小学生の地球環境大疑問100」
	かんきょう へん こうだんしゃ ねん 環境g00／編 講談社 2001年 ちきゅう 地球はなぜだんだん暖かくなっているの？燃えるゴミと燃えないゴミ はなぜ分別するの？ダイオキシンはなぜ怖い？など、身近な生活の ぎもん わだい ちきゅうかんきょう もんだい いちもんいっとうけいしき 疑問や話題から、地球環境の問題まで、一問一答形式でわかりやすくま とめられています。総合学習や自由研究などにも役立つ1冊です。
ジュニアかんきょうちょうさたい ジュニア環境調査隊	ちきゅう 「地球をまもろう」
	デーヴィッド・バーニー／作 さいとうやすじ やく まるぜん ねん 2002年 ちきゅう 地球のいろいろな環境問題を取りあげ、どのように解決していけばよいか を、写真とイラストでわかりやすく紹介しています。環境保護の仕事をし ている人の一日や、いろいろな国の子どもたちから届いた環境問題につ いてのメッセージもたくさん紹介されていて、地球の環境をどのように まも 守っていけばよいか、一緒に考えることができます。
	「みみずのカーロ」 シェーファーせんせい しぜんがっこう 先生の自然学校
	いまいずみ こ ちよ ごうどうしゅつばん ねん 今泉みね子／著 合同出版 1999年 みなみ 南ドイツ・ライン川のほとり、ブドウ畑がひろがる丘のふもとの小学校は、 ちょっと変わっています。この学校の子どもたちは、木を町の回りに植え たり、放課後にはミツバチを育てたり、観光ガイドをしています。その上、 みみずが活躍をしているのです。ヨーロッパ環境賞、パンダ賞などに かがや 輝く、メルディンガー小学校の環境教育への取り組みを紹介しています。
	「もったいない」
	プラネット・リンク／編 マガジンハウス ねん 2005年 ノーベル平和賞受賞者でケニア共和国環境副大臣のワンガリ・マータイ さんは、環境問題の柱に3R 《リデュース (削減) ・リユース (再利用) ・リ サイクル (再利用) 》を掲げています。それは彼女が、日本で知った、 『もったいない』という言葉で表現できるものでした。 エコライフだった日本文化を見直し、環境について考えてください。





	「宇宙図鑑」 藤井旭／写真・文 ポプラ社 2006年 「宇宙って、どうなっているんだろう。」星空をながめていると色々な疑問が浮かんで来ることがあります。この本は『最新の宇宙像』を、豊富なカラーイラストや写真を交え、身近な太陽系から宇宙の果てまでのさまざまな話題を通して、わかりやすく紹介しています。親子で楽しめる、目で見る天文学入門書です。
	「宇宙探検 すばる望遠鏡」 林 左絵子／文 海部宣男／監修 新日本出版社 2005年 主鏡の直径が8mもある世界最大の反射望遠鏡『すばる』は、国立天文台がハワイ島のマウナケア山頂に建てた天体観測所にあります。巨大な鏡を造り、それを備えつける建物を建てたり、完成まで9年もかかりました。第1章では『すばる』がとらえた宇宙の神秘的な姿を、第2章では観測所建設に関わった多くの人々の奮闘ぶりを紹介します。
新装版 	「宙の名前」 林完次／写真・文 角川書店 1999年 夜空を見上げていますか？今日、星は見えますか？君の見つめるその先は、果てない宇宙へと繋がっています。なんだか不思議ですね。春夏秋冬の星座や月の形、それに夜の色。その不思議と美しさの情景に、古来から人々は“名前”をつけてきました。この本ではその名と解説を、美しい写真と共に紹介しています。一般書ですが、読みがなもついてわかりやすい内容です。一風変わった星空案内記。
ノンフィクション知られざる世界 	『大望遠鏡「すばる」誕生物語』 小平桂一／著 金の星社 1999年 いつの時代も人々は星空を見上げてきました。それは遙かなる宇宙へのあこがれでもあるかのように。闇で輝く無数の惑星は大望遠鏡「すばる」の誕生により、今、その不可思議が徐々に解明されていきます。20年の歳月をかけた国際プロジェクトの推進と大望遠鏡「すばる」の誕生物語。ページをめくると何億光年宇宙の旅への道案内が始まります。



	「なるほど宇宙」
	宇宙環境利用推進センター／監修 朝日新聞社 2002年 星の一生や、惑星カタログ、宇宙飛行士の仕事、火星への旅まで、宇宙にまつわるさまざまな不思議をオールカラーで説明してあります。写真や図が多いので、理科の勉強が苦手な人でも気軽に読める一冊です。
ふしぎコレクション 4	「星と月のコレクション」
	大木完次／作 フレーベル館 2004年 夜空に目を向けてみよう。夕暮れのあかね色から青、もっと濃い色へと変わって行く空、美しい星、三日月や満月、夜明けの空、すいこまれるような美しい写真と、ていねいな説明が書かれています。 月や星たちはたくさんの夢やお話を私たちに語ってくれます。大好きな星を見つけて自分だけのコレクションを集めてみませんか？



	「いろいろたまご図鑑」
	井澤みよこ／編集 ポプラ社 2005年 さまざまなたまごの不思議がいっぱい。虫や鳥、川や海の中、子どもたちが普段見慣れている生き物でも卵となると未知の世界です。「えー、これが！」と驚いたまごの形、大きさには眼を見張るものばかり。生命の誕生に興奮と興味がかきたてられます。約180種類の生き物たちのたまごがずらりと並ぶこの図鑑は、「川原の石ころ図鑑」と同シリーズの一冊。たくさんのことに興味を持って調べる子どもたちに最適の本です。
	「北の動物園できいた12のお話」 旭山動物園物語
	浜なつ子／著 あべ弘士／絵 角川学芸出版 2005年 北海道の「旭山動物園」で本当にあった12のお話はなしの本です。動物たちのことを真剣に考えて、世話を続ける飼育係の人たちの温かい気持ちを読むうちに伝わってきます。日本では初めてアムールヒョウの赤ちゃんが生まれるまでの話や、ペンギンたちが動物園の中を散歩する理由もおどろきで、なるほどと感心しますよ。動物園をもっと好きになる本です。

	「クマは『クマッ』となく?!」
	くまがい ちよ かいせいしゃ ねん 熊谷さとし 著 偕成社 2005年 「ゾウはなぜくびがみじか 「トラのもようはたてよこ など、画家でフィールドワーカーの作者が、実際に現地で見たり聞いたりした、とびきりおもしろい動物の話が紹介されています。
がっけん だいずかん 学研の大図鑑	「世界絶滅危機動物」
	がっけん ねん 学研 2002年 こくさいしぜんほごれんごう ねんぱん にほん かんきょうしょう ぜ 国際自然保護連合の2000年版のレッドリストと、日本の環境省の「絶 滅の恐れのある日本の野生動物」に載っているものの中で、特にぜつめつ する危険の高い動物・爬虫類・魚類などが1000種類以上もこの本の中で しょうかい しょうかい 紹介されています。君たちが大人になった時にも、トラもツルもクジラも同 じ地球に生きていてくれることを願ってやみません。
	「素数ゼミの謎」
	よしむら じん ちよ いしもりあいひこ え ぶんげいしゅんじゅう ねん 吉村 仁/著 石森愛彦/絵 文藝春秋 2005年 13年あるいは17年おきに何億匹も大量発生する、アメリカの不思議な セミ。17・13という「素数」にかくされた謎とは？数週間だけすごい声で 鳴き交わして死んでゆく、奇妙なセミ。どうしてそんなに長い時間をかけ て成虫になるのか？ 日本人の科学者が初めて解いた、へんてこな「素数ゼミ」の秘密。
	「鳥の巣研究ノート」 PART 1&PART 2
	すずき まもる ぶん え しょう ねん 鈴木まもる/文・絵 あすなろ書房 2004年 とり す は す ばしょ しゅるい 鳥の巣は、住んでいる場所や、種類によってさまざまです。PART1では、 たまごとり す かんけい とり 卵と鳥の巣の関係や鳥インフルエンザを、PART2では、せかいいちおお す と小さい巣など、知られざる鳥の巣の不思議を、イラスト入りで紹介して います。作者は『鳥の巣を知ることは、小さな命を知ること。そして大きな ちきゅう し い たの とり すけんきゅう ほん 地球を知ること』と、言っています。楽しい鳥の巣研究の本です。



しよめいさくいん 書 名 索 引

【あ行】

アイスマン	7
青空 ^{あおぞら} のむこう	1
赤ちゃん ^{あか} のはなし	10
新しい戦争 ^{あたらし せんそう} ってなんだろう	5
穴 ^{あな}	1
あなたが世界 ^{せかい} を変える日 ^か	28
ありがとう、フォルカー先生 ^{せんせい}	13
非 ^{あん} ・バランス	13
生きるタネ	15
生きる、って何？戦争 ^{せんそう} はなぜ起こるの？	5
いじめや仲間 ^{なかま} はずれから身 ^み をまもる	13
衣食住 ^{いしょくじゅう} の歴史 ^{れきし}	8
井上 ^{いのうえ} ひさしの子 ^こ どもにつたえる日本国憲法 ^{にほんこくけんぽう}	19
いま地球 ^{ちきゅう} がたいへん！	28
いろいろたまご図鑑 ^{ずかん}	31
宇宙 ^{うちゅう} 図鑑 ^{ずかん}	30
宇宙探検 ^{うちゅうたんけん} すばる望遠鏡 ^{ぼうえんきょう}	30
お金 ^{かね} について考える ^{かんが}	19
おこづかい ^{おこづかい} はなぜもらえるの	15
おしごと図鑑 ^{ずかん}	15
鬼 ^{おに} の橋 ^{はし}	1
おはなし歴史風土記 ^{れきし ふうどき} ・山梨県 ^{やまなしけん}	23

【か行】

家族 ^{かそく} はチームだ もっと会話 ^{かいわ} をしろ	10
川原 ^{かわら} の石ころ図鑑 ^{いし ずかん}	26
川 ^{かわ} を治め水 ^{おさ みず} と戦 ^{たたか} った武将 ^{ぶしやう} たち	23
環境 ^{かんきやう} の世界地図 ^{せかい ちず}	28
ガラスのうさぎ	5
きいちゃん	10
北 ^{きた} の動物園 ^{どうぶつえん} できいた12のお話 ^{はなし}	31
キッズ・エコ	26
キミは日本 ^{にほん} のことを、ちゃんと知 ^し っているか！	19
Q & Aでわかる！これからの年金 ^{ねんきん} どうなるの？	19

クマは「クマツ」となく？	32
くらしの中の知らない科学物質	28
クローディアの秘密	1
甲州弁を読む	23
小型武器よさらば	5
国会議事堂大図鑑	20
子どもによる子どものための「子どもの権利条約」	20
コンビニ弁当16万キロの旅	20

は 行

自然図鑑	26
自分を守る本	13
写真絵本 国境なき医師団	6
11の約束	20
13歳のハローワーク	15
12歳からの被災者学	21
12歳からのマナー集	21
12歳たちの伝説	2
小学生の「地球環境」大疑問100	29
小学生の大疑問100	21
職業別ユニフォーム・制服絵事典	16
しらんぷり	14
シリーズ憲法9条	6
震度7	26
好きからチャレンジ資格と検定の本	16
「好き」からみつけるなりたい職業ガイド	16
すばらしき山梨の虫たち	23
性ってなに？	10
税金の絵事典	21
世界絶滅危機動物	32
世界ふくそうの歴史	8
戦争が終わっても	6
戦国時代の道具図鑑	8
葬式ごっこ	14
素数ゼミの謎	32
宙の名前	30

は 行

大好きなことを「仕事」にしよう	16
大切な人が死んじゃった	11

だいぼうえんきょう	たんじょうものがたり	大望遠鏡「すばる」誕生物語	30
	へいわ	ダイヤモンドより平和がほしい	6
	しごとちゅう	ただいまお仕事中	16
ちず	みにほん	れきし	8
ちきゅう		地球をまもう	29
	こうじょう	ひみつ	2
		ツバル	27
と	きょうしつ	飛ぶ教室	2
とり	すけんきゅう	鳥の巣研究ノート	32

【は 行】

なぜ命はたいせつなの？	11
夏の庭	11
ナルニア ^{こくものがたり} 国物語	2
なるほど ^{うちゅう} 宇宙	31
西 ^{にし まじょ し} の魔女が死んだ	2
日本 ^{にほん しよくにん} の職人さん	17
ニュースを ^よ 読みとくキーワード100	22
ネルソンさん、あなたは人 ^{ひと} を殺 ^{ころ} しましたか？	6

【は 行】

ハードル	14
はたら 働くってたのしい	17
バッテリー	3
は 葉っぱのフレディ	11
ハッピーバースディ	14
はなはなみんなみ物語 ものがたり	3
ハルばあちゃんの手 て	11
ハンセン病の療養所をつくったお坊さん びょう りょうようじょ ぼう	24
ヒットラーのむすめ	7
ひばくしゃ 被爆者	7
ふくし せかい ちず 福祉の世界地図	14
ふじさん だいけんきゅう 富士山の大研究	24
ふじさん ひとひと 富士山をひらいた人々	24
ふじまき あいこ かた やまなし ばなし でんせつ 藤巻愛子が語る山梨のむかし話と伝説	24
ブナのもり みどり の森は緑のダム	27
ふるさと やまなし の 民話	24
べんきょう せいせき しんろ 勉強・成績・進路のなやみ	17
ぼく どこからきたの？	12
ほこの かみ 神さま	3

ほし つき 星と月のコレクション	31
---------------------	----

【ま 行】	まな しゃかいほしょう 学ぼう！社会保障	22
	みのり なつ 美乃理の夏	3
	みみずのカー口	29
	みんなが知りたい！世界の歴史がわかる本	8
	みんなが知りたい！日本の歴史がわかる本	9
	みんなのためのルールブック	12
	むかし どうぐじてん 昔のくらしの道具事典	9
	むかし こ じてん 昔の子どものくらし事典	9
	もう、死なせない！	12
	もったいない	29
	モモ	3
	もり 森はだれがつくったのだろう	27
	も びと 守り人〔シリーズ〕	4

【や 行】	やまなしけん みんな 山梨県の民話	25
	やまなし こ ぶんがく ふ ど き 山梨の子ども文学風土記	25
	やまなし どうわ 山梨の童話	25
	やまなし ひ ばく に せい 山梨の被爆アオギリ二世	25
	ゆうだいこんちゅうき 雄太昆虫記	27
	ゆき しゃしんか 雪の写真家ベントレー	17
	ゆめ しごと 夢をそだてるみんなの仕事101	17
	よ やまなし ばなし 読みがたり山梨のむかし話	25

【ろ 行】	らくえん 楽園のつくりかた	4
	ほし ルイーゼの星	12

【わ 行】	わたしが選んだ職業	18
	わたしたちのアジア・太平洋戦争	7
	わ ぎょうじ 「和」の行事えほん	22



じどう ほうし けんきゅう ぶかい きょう しぶ めいぼ
児童奉仕研究部会峡支部 名簿

【Aブロック】

にらさきしりつとしょかん
 韮崎市立図書館
 ほくと しきんだいちはるひこきねんとしよかん
 北杜市金田一春彦記念図書館
 ほくと し もり としよかん
 北杜市すたま森の図書館
 ほくと し としよかん
 北杜市たかね図書館
 ほくと し としよかん
 北杜市ながさか図書館
 ほくと し
 北杜市ライブラリーはくしゅう
 ほくと し としよかん
 北杜市むかわ図書館
 ほくと し こぶさざわとしよかん
 北杜市小淵沢図書館
 か い しりゅうおうとしよかん
 甲斐市竜王図書館
 か い しきしまとしよかん
 甲斐市敷島図書館
 か い し ふたばとしよかん
 甲斐市双葉図書館

【Cブロック】

みなみ しりつくしがたとしよかん
 南アルプス市立櫛形図書館
 みなみ しりつしらねとうげんとしよかん
 南アルプス市立白根桃源図書館
 みなみ しりつはった としよかん
 南アルプス市立八田ふれあい図書館
 みなみ しりつ としよかん
 南アルプス市立わかさ図書館
 みなみ しりつこうさいとしよかん
 南アルプス市立甲西図書館
 みのぶちようりつとしよかん
 身延町立図書館
 なべちようりつとしよかん
 南部町立図書館
 かじかざわちよふくし としよしつ
 鯉沢町福祉センター図書室
 ます ほちようみんとしよしつ
 増穂町民図書室
 いちかわみ さとちようりつとしよかん
 市川三郷町立図書館
 いちかわみ さとちようりつとしよかんみたまぶんかん
 市川三郷町立図書館三珠分館
 いちかわみ さとちようりつとしよかんろくごうぶんかん
 市川三郷町立図書館六郷分館

【Bブロック】

やまなしけんりつとしよかん
 山梨県立図書館
 こうふしりつとしよかん
 甲府市立図書館
 ちゅうおうしりつたとみとしよかん
 中央市立田富図書館
 ちゅうおうしりつたまほしやうがくしゅうかん
 中央市立玉穂生涯学習館
 しょうわちようりつとしよかん
 昭和町立図書館

【Dブロック】

やまなししりつとしよかん
 山梨市立図書館
 ふえふきし いさわとしよかん
 笛吹市石和図書館
 ふえふきし いちみやとしよかん
 笛吹市一宮図書館
 ふえふきし かすがい としよかん
 笛吹市春日居ふるさと図書館
 こうしゅうしりつかつぬまとしよかん
 甲州市立勝沼図書館
 こうしゅうしりつえんざんとしよかん
 甲州市立塩山図書館
 こうしゅうしりつやまとしよかん
 甲州市立大和図書館
 あしがわむら そうごう としよしつ
 芦川村ふるさと総合センター図書室



ほん せかい
本の世界へようこそ! しょうがっこう ねんせい おく
 ~小学校5・6年生に贈ります~

- 平成19年3月31日
 へいせい ねん がつ にち
 ○編集・発行／山梨県公共図書館協会 児童奉仕研究部会峡支部
 へんしゅう はっこう やまなしけんこうきょうとしよかんきょうかい じどう ほうし けんきゅうぶ かい きょうし ぶ

